

柏崎刈羽原子力発電所 1～5号機のケーブルの敷設に係る是正^{※1} 状況

- 中央制御室床下のケーブル敷設に係る是正については、2016年10月末までの完了を目標としています。
- 現場ケーブルトレイ等で確認された区分跨ぎケーブルの是正については、複数の安全系に影響を与える可能性のあったケーブル（安全系の2区分跨ぎ）の是正を優先して行い、2016年4月までに完了しました。
一方、複数の安全系に影響を与えないケーブル（安全系の1区分跨ぎ^{※2}）については、使用用途が不明のケーブルの特定に時間を要したこと、ならびに現在使用中で速やかな是正が出来ないものがあること等をふまえ、11月以降も順次、是正処置を進めてまいります。

※1 是正

分離板・分離バリアで正しく区分分離されていなかった箇所や、正しい区分に従いケーブルが敷設されていなかった箇所を是正し、正しく区分分離された設計状態にすること。

具体的には、リルート、撤去、切断等により跨ぎを解消した状態。

※2 安全系の1区分跨ぎ

安全系区分が異なるケーブルトレイは分離距離の確保により「火災の影響軽減」が講じられており、1区分跨ぎについては、複数の安全系区分が同時に機能喪失する状態ではない。

■ケーブルの区分跨ぎ（概念図）



以 上